

令和6年度事業計画

1 基本的な考え方（事業方針）

＜1＞松江城を守り伝える機運醸成活動

- ①ふるさとの宝である松江城を市民の手で守り、後世に伝えていくために、本会の主旨を広く発信し、会員の輪を広げる
- ②松江城を守り伝えていく活動を通じて、松江城の世界遺産登録推進の機運づくりを行う
- ③松江城に関する既存活動団体の活動を支援し、ともに活動を行う

＜2＞松江城に関わる各団体のネットワーク化の促進

- ①既存活動団体の情報集約、フィードバックを行い、各団体の活動支援を行う
- ②既存活動団体間の情報共有を促進する
- ③松江城に関する情報及び各団体の活動について、積極的に発信する

なお、年度中途においても、会員及び既存活動団体からの提案について、可能な限り柔軟に対応できるようにする。

2 令和6年度実施事業

＜1＞松江城を守り伝える機運醸成活動

①個人会員・賛助団体の募集活動

⇒賛助団体の登録数を増やすとともに、団体メンバーの個人会員加入についても依頼する。

守る会のノベルティグッズを作成し、会員及び入会者へ配布する。

床磨きや松江城講座などの参加者にクリアファイルなどのグッズや会員募集チラシを配布する。

⇒「守る会」のPRをSNS等各種媒体、手法を通じて行う。

松江城を守る会及び関係団体のイベント情報や開催内容などをホームページや松江市公式LINEや松江城・史料調査課X（旧ツイッター）などで広く情報発信し、加入につなげる。

松江城や周辺施設など守る会の情報が届きやすい場所にチラシを設置。

②会報発行

⇒年1回の会報発行を行い、活動状況の情報発信による守る会の活動の理解促進につなげる。

③小学生親子や市民による松江城の清掃活動【継続】

⇒多くの会員や市民が参加しやすい事業として、松江城の床磨きを行う。

- ・第4回親子で国宝松江城天守の床磨き（7月27日[土]予定）

【募集 80 名】

※松本城、犬山城との三城又は彦根城、姫路城を加えた五城での合同床磨きの同時開催を予定している。

- ・第2回市民で国宝松江城床磨き（11月10日[日]）【募集 80 名】

※第1回は賛助団体等の参加者が約半数近くあり、昨年度の参加団体並びに賛助団体にも参加を働きかけるとともに、広報・SNS等を活用し市民参加を呼び掛けていく。

④松江城講座の開講【継続】

⇒松江城に関する市民向け講座の開催（9月7日[土]）【募集 80 名】

今年度は、令和5年度末に発行された松江城研究5で発表された本城・支城の研究に関連し、地元の研究者2名による講演を予定。

なお、講演会の録画を行い、松江市公式 YouTube で動画配信することで、より多くの方が視聴できるよう取り組む。

⑤松江城写生大会の開催【新規】

⇒市内全小学生を対象とした松江城写生大会の開催

（10月20日[日]）【募集 70 名】

昨年度は、堀尾会主催の写生大会が久々に開催され、松江城を守る会も表彰に加えていただいたが、令和6年度は堀尾会の事業で予定されていないため、松江城を守る会主催で初めて開催する。

後日、応募作品の審査を行い、入賞作品について興雲閣で展示し、市民や観光客にも作品を鑑賞してもらう。

表彰（会長賞1点、優秀賞3点、入選10点）

⑥既存活動団体が実施する松江城に関する活動に対する支援、参加

⇒共催予定事業

- ・ 3 市市民交流会【近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会】会場:姫路市
- ・ 堀尾吉晴公銅像清掃（松江城清掃活動）【堀尾会】6月2日開催
- ・ 国宝松江城から学ぶ環境学習会【まつえ環境市民会議】10月予定

⇒その他関係団体の実施する事業について、必要に応じて支援を行う。

- ・ 松江ロータリークラブの事業（世界遺産講演会・天守床磨きを予定）
について協力する 時期：未定

<2> 松江城に関わる各団体のネットワーク化の促進

①松江城に関する既存活動団体情報の収集

⇒会員募集活動とあわせ、関係団体の情報収集に努め、連携につなげる。

②「国宝松江城 HP」内での松江城関係情報の発信

⇒守る会の HP を通じて、関係団体のイベント情報を発信する。